

# Museum Info 2015

ミュージアム・インフォメーション

平成27年度の山梨県立美術館・文学館・博物館・考古博物館の  
展覧会の予定をご案内します。

## 春 Spring

### 博物館



木喰作「子安観音菩薩像」  
(徳藏寺蔵)

#### 県立博物館開館10周年記念特別展 微笑に込められた祈り 円空・木喰展

平成27年3月28日(土)～5月18日(日)

甲斐国出身の木喰は、全国に仏像を彫り遣した作仏聖として知られています。93歳で没するまで、1000体以上に及ぶ像を制作したと言われ、現在は720体ほどが残されています。その多くが満面の笑みを浮かべていることから「微笑仏」とも呼ばれ、今でも沢山の人の心を魅了しています。本展では、本県出身の木喰の作品とともに、同じく作仏聖として名高い円空の作品もあわせて展示し、個性的な造形を生み出した2人の魅力を紹介します。

□観覧料／一般1,000円、大学生500円



円空作「不動三尊像」  
(清瀧寺蔵)

### 美術館

#### 夜の画家たち — 蠟燭の光とテネブリスム —

平成27年4月18日(土)～6月14日(日)

西洋の絵画技法である、光や炎によって夜や闇の中に劇的に対象を浮かび上がらせるテネブリスム(明暗主義)は、近代の日本人画家を魅了し、あおうどうでんぜん たかはしゆいち たかしま 亜欧堂田善、高橋由一から高島やじゅうろう 野十郎まで、独自の明暗表現を手がける日本の「夜の画家」たちが誕生するきっかけとなりました。本展では、近代日本の闇と光の世界を、フランスの巨匠ジョルジュ・ド・ラ・トゥールの作品などとも対比させながら、紹介します。

□観覧料／一般1,000円、大学生500円



近藤浩一路「下京の夜」1913年

### 考古博物館



兜前立て(かぶとまえたて)  
(二本柳遺跡 南アルプス市)

#### 甲斐のSAMURAIゆかりの遺跡 — 城・館・屋敷・墓 —

平成27年4月25日(土)～6月14日(日)

室町時代～江戸時代に活躍した、山梨県ゆかりの武士—SAMURAIをテーマとする展示です。彼らに関連する城や館・屋敷の発掘調査などをもとに、そこから発見された遺物を展示する他、ゆかりの遺跡や彼らの眠る墓などを紹介します。

□観覧料／無料

### 文学館

#### 田中冬二展 なつかしい日本の風景

平成27年4月25日(土)～6月21日(日)

日本各地を旅し、失われゆく自然や風物をうたった詩人田中冬二ふゆじ(1894～1980)。山梨では早川町の奈良田や富士北麓、八ヶ岳南麓などの風景をやさしく平易な言葉で詩に残しました。直筆の原稿・書簡・書画・写真などと共に作品の魅力を紹介します。

□観覧料／常設展観覧料(一般320円、大学生210円)でご覧いただけます。



田中冬二

### 近代人物館

#### 「山梨近代人物館」開館

平成27年4月、明治時代から戦前までの間、山梨県の発展に貢献した人物や、山梨県出身の国内外で活躍した人物を紹介する展示施設が山梨県庁舎別館に開館します。

貴重な文化財であり、また、時代を超える記憶が刻まれた県庁舎別館で、山梨県の発展を支えてきた幾多の先人達からのメッセージを今、改めて紹介します。

□入館料／無料



## 博物館

### 鵜飼 — 甲斐の川漁と鵜飼をめぐる伝説

平成27年5月30日(土)～7月6日(日)

石和温泉の夏の風物詩として親しまれている鵜飼。鵜飼は長い歴史を有しており、甲斐でも謡曲「鵜飼」や、日蓮聖人による鵜飼の怨霊供養の伝説が語り継がれるなど、独特の文化が形成されてきました。本展では、甲斐国における生業としての鵜飼をはじめとする川漁の歴史と、謡曲「鵜飼」など甲斐の鵜飼にまつわる伝説、そして現在も石和の地で受け継がれる鵜飼の文化を紹介します。

□観覧料／常設展観覧料(一般510円、大学生210円)でご覧いただけます。



鵜飼の様子(日蓮上人一代記)



経石(遠妙寺蔵)

## 美術館



ギュスターヴ・クールベ《海景、風》 ロン＝ル＝ソニエ美術館  
©Ville de Lons-le-Saunier, Musée des Beaux-Arts  
Studio Eureca, Jean-Loup MATHIEU

### 近代風景画の創造 ノルマンディー展

平成27年6月27日(土)～8月23日(日)

フランス北部ノルマンディーはフランスで最も人気のある保養地の一つです。19世紀初頭、ロマン主義の画家たちによって古い町並みや遺跡が描かれるようになり、その後、美しい水辺の風景が広がるこの地は、身近な風景の表情を描く画家たちが集う場となりました。本展では、近代風景画の発展に寄与したノルマンディーの役割を、国内外の所蔵作品約100点により紹介します。

□観覧料／一般1,000円、大学生500円

## 文学館

### 芥川龍之介の夏休み

平成27年7月11日(土)～8月23日(日)

芥川龍之介の日記や愛用品によって、これまで知られることのなかった少年時代のエピソードをわかりやすく紹介します。夏休み子どもたちに、無口で近寄りたたいイメージの作家・芥川を身近に感じてもらえる展覧会です。

□観覧料／常設展観覧料(一般320円、大学生210円)でご覧いただけます。



芥川龍之介

## 考古博物館

### 近代山梨の遺跡と遺物 — 養蚕・舟運・堤防・戦争 —

平成27年7月18日(土)～8月30日(日)



焼夷弾弾頭(しょういだんだんとう)(塩部遺跡 甲府市)

遺跡というと縄文時代や弥生時代、また江戸時代など古い時代のものばかりを思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。けれど明治以降の近代の人々の営みや文化の痕跡などもまがいがなく遺跡なのです。山梨県内には数多くの近代遺跡が存在しますが、時代の流れの中でその多くが消え去ろうとしています。今回の展示ではそんな近代遺跡を紹介することで、あらためて近代山梨の歴史を見直し、そして記憶とともに未来へと伝え残す場とします。

□観覧料／無料

## 博物館

県立博物館開館10周年記念特別展

### 大化石展 — 山梨に恐竜はいたか!?! —

平成27年7月18日(土)～8月31日(日)

今から千数百万年前、山梨には海が広がっていたことが貝や魚の化石からわかります。また、約3万年前には絶滅してしまったナウマンゾウが生息する寒冷な気候でした。このように、化石からは過去の自然環境や気候を調べることができます。では、山梨に恐竜はいたのでしょうか?本展では国内の恐竜化石や県内の様々な化石を通じて山梨の大地の成り立ちを探っていきます。

□観覧料／一般1,000円、大学生500円



ナウマン象化石(山梨市蔵)



アロサウルス  
(福井県立恐竜博物館蔵)

# Museum Info 2015 秋 Autumn

ミュージアム・インフォメーション

美術館

## ルートヴィヒ・コレクション ピカソ展

平成27年9月1日(日)～10月25日(日)

パブロ・ピカソは、生涯を通じて尽きることのない想像力と探究心を持ち続け、ジャンルを越えた旺盛な制作活動を行いました。本展では、世界最大級のピカソのコレクションを有する、ドイツのルートヴィヒ美術館から、ピカソの油彩、版画、陶器、ブロンズ等様々な作品を紹介します。また、有名写真家たちによるピカソのポートレートも出品し、天才と謳われるピカソの人間像にも迫ります。

□観覧料／一般1,000円、大学生500円



博物館

## 風景に想う 一秋の日は絵画づくし

平成27年9月16日(日)～10月12日(日)

風景画とひとことと言っても、浮世絵に描かれた風情ある名所から、掛軸にあらわされた壮麗な景観まで、その世界は多岐に渡ります。本展では、当館で所蔵している風景画作品の中から、秋の情景を描き出したものなど、よりすぐりの作品を紹介します。風景画を通して、博物館で芸術の秋を満喫しませんか。

□観覧料／常設展観覧料(一般510円、大学生210円)でご覧いただけます。



歌川広重  
「富士三十六景 甲斐大月の原」

文学館



正岡子規「燈籠にふたゝひとす夜半哉」扇面額装

「雲母」創刊100年記念

## 俳句百景 季節を生きる喜び

平成27年9月19日(日)～11月23日(日)

明治時代以降の正岡子規、高浜虚子、河東碧梧桐、飯田蛇笏、水原秋桜子、加藤楸邨など著名な俳人の残した名句の書画から、俳句と季節の魅力を見つめなおします。

□観覧料／一般600円、大学生400円

考古  
博物館

## 縄文の美 一世界に誇るJOMON芸術

平成27年10月6日(日)～11月23日(日)

山梨は、縄文時代の遺跡が多く発見されていて、多くのすばらしい土器などが見つかっています。そこからこの場所は縄文時代からたくさんの方が住み、縄文時代の文化が華開いた土地であったことなどがわかっています。縄文土器や土偶は、その芸術性の高さから、海外でも「JOMON芸術」として紹介されています。土器や土偶にみられる立体的かつ装飾的なデザインから縄文人のエネルギーを受ける空間を演出し、日本文化の源流をなす縄文の美に迫ります。

□観覧料／一般・大学生600円



装飾付深鉢形土器展開写真  
小川忠博氏撮影



装飾付深鉢形土器  
(重要文化財 一の沢遺跡 笛吹市)  
小川忠博氏撮影

博物館

世界遺産登録記念・開館10周年記念特別展

## 富士山 一信仰と芸術

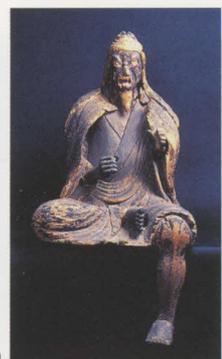
平成27年10月24日(日)～11月30日(日)



富士山は、古来より信仰の対象であり、また、優れた芸術作品を生み出す源として、常に人々の憧憬を集めてきました。平成25年6月には世界文化遺産に登録され、その重要性は世界的に認められるものとなったことは、周知のとおりです。本展は、富士山に縁深い静岡・山梨両県が合同で開催します。富士山にまつわる文化財を一堂に会し、その尽きせぬ魅力を紹介します。

□観覧料／一般1,000円、大学生500円

富士参詣曼荼羅図  
(重要文化財 富士山本宮浅間大社蔵)



役行者像  
(山梨県指定文化財 円楽寺蔵)

## 美術館

### 花の画家 ルドゥーテのバラ展

平成27年11月3日(祝)～平成28年1月17日(日)

フランス王妃マリー・アントワネットやナポレオンの皇妃ジョゼフィーヌ付きの植物画家として活躍したルドゥーテは、花卉の一枚一枚まで正確に且つ柔和に表現した作風で「花のラファエロ」とも称えられました。本展では、「ボタニカル・アート」の巨匠として現在も多くのの人々を魅了し続けているルドゥーテの代表作『バラ図譜』を中心に約180点の作品を紹介します。

□観覧料／一般1,000円、大学生500円



『バラ図譜』より  
『ロサ・ケンティフォリア』

薔の収穫(1969.6甲府)

## 博物館

### 養蚕 平成27年12月16日(祝)～平成28年2月29日(日)

かつて山梨における主要産業だった養蚕と、それを基盤に培われてきた文化について、実物資料や写真により紹介します。

□観覧料／常設展観覧料(一般510円、大学生210円)でご覧いただけます。



## 博物館



武田二十四将図

### 県立博物館開館10周年記念特別展

### 武田二十四将 一信玄を支えた家臣たちの姿

平成28年3月19日(日)～5月23日(日)

中部地方に巨大な勢力圏を築きあげた戦国大名武田氏。その発展には武田信玄個人の才覚が高く評価されています。しかし、領国のすべてを信玄ひとりが把握することは難しく、多くの家臣の活躍によって維持されていたのです。本展では、信玄を支えた家臣として後世までその名が知られる「武田二十四将」を中心に、彼らの古文書、武具や肖像、ゆかりの寺社や出身地に伝わる資料を紹介し、家臣たちの実像に迫ります。

□観覧料／一般1,000円、大学生500円

※( ):団体(20名以上)料金

(円)

観覧料のご案内	観覧料		特別展・企画展	定期観覧券(年間パスポート)	
	一般	大学生		購入した日から1年間、常設展・企画展(特別展)を何回でも観覧できます。	(円)
美術館	一般	510 (420)	当パンフレットに記載されている各展覧会情報をご覧ください。	3,080	
	大学生	210 (170)		1,540	
文学館	一般	320 (250)		1,540	
	大学生	210 (170)		770	
博物館	一般	510 (420)		2,060	
	大学生	210 (170)		1,030	
考古博物館	一般・大学生	210 (170)		1,330	

(円)

ミュージアム甲斐in券 (4館共通定期観覧券)	
購入した日から1年間、美術館、文学館、博物館、考古博物館の全ての常設展・企画展(特別展)を何回でも観覧できます。	
一般	5,150
大学生	2,580

県内の65歳以上の方(県外65歳以上の方は常設展料金のみ)、障害者及び介護者ならびに、小・中・高校生等は、**無料**です。また、県民の日(11月20日)は、どなたでも**無料**です。

## 山梨県立美術館

〒400-0065 甲府市真川1-4-27  
TEL 055-228-3322  
開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)  
休館日／月曜日(祝日の場合はその翌日)

## 山梨県立文学館

〒400-0065 甲府市真川1-5-35  
TEL 055-235-8080  
開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)  
休館日／月曜日(祝日の場合はその翌日)



JR甲府駅からバスで約15分

## 山梨県立博物館

〒406-0801 笛吹市御坂町成田1501-1  
TEL 055-261-2631  
開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)  
休館日／火曜日(祝日の場合はその翌日)



JR石和温泉駅からバスで約10分

## 山梨県立考古博物館

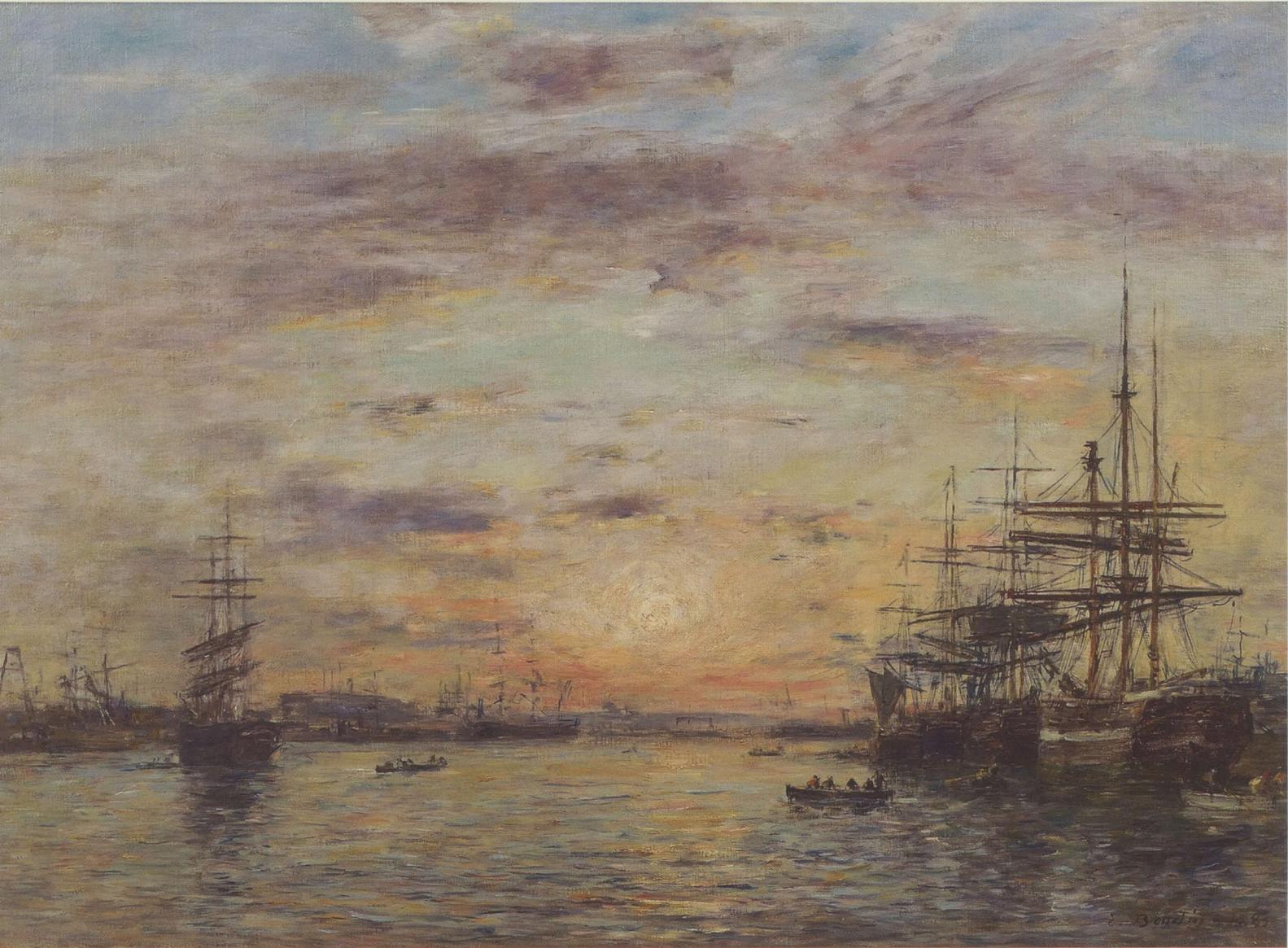
400-1508 甲府市下首根町923  
TEL 055-266-3881  
開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)  
休館日／月曜日(祝日の場合はその翌日)



JR甲府駅からバスで約30分

# 印象派の故郷 ノルマンディー展

～近代風景画のはじまり～



ウジェーヌ・ブーダン《ル・アーヴル、ウール停泊地》1885年 エヴルー美術博物館蔵 © J.P.Godais - Musée d'Évreux

2015年6月27日 **土** → 8月23日 **日**

開館時間／午前9:00～午後5:00(入館は午後4:30まで)

休館日／6月29日(月)、7月6日(月)・13日(月)・27日(月)、8月3日(月)

観覧料／一般1,000(840)円 大学生500(420)円 ( )内は20名以上の団体料金、前売料金、宿泊者割引料金

**小・中・高校生、特別支援学校の児童・生徒は無料**

県内65歳以上の方は無料(健康保険証等持参)

障害者手帳をご持参の方はご本人と介護の方1名が無料

前売券は山梨県立美術館にて、5月27日(金)～6月26日(金)販売

主催／山梨県立美術館 山梨日日新聞社・山梨放送

後援／在日フランス大使館／アンステイチュ・フランセ日本

NHK甲府放送局 テレビ山梨 テレビ朝日甲府支局 朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局  
読売新聞甲府支局 日本経済新聞社甲府支局 産経新聞社甲府支局 共同通信社甲府支局  
時事通信社甲府支局 山梨新報社 日本ネットワークサービス エフエム富士 エフエム甲府

協力／エールフランス航空 ヤマトロジスティクス

企画協力／プレントラスト

## 山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

甲府市貢川1-4-27 〒400-0065 Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

<http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

[http://www.facebook.com/yamanashi.artmuseum\(Facebook\)](http://www.facebook.com/yamanashi.artmuseum(Facebook))

# 印象派の故郷 ノルマンディー展

～近代風景画のはじまり～

セーヌ河の河口であり、英仏海峡に面するフランス北部ノルマンディーは現在もフランスで最も人気のある保養地の一つです。19世紀初頭、この地に残っていた古い町並みや遺跡は、「ピクチャレスクな(絵になる)」光景として、英仏のロマン主義の画家たちに度々取り上げられるようになります。自然の中でモチーフと直接対峙し、そこで得られた感興を重要視して絵画制作に取り組む姿勢は、後の写実主義や印象派に受け継がれていきます。ノルマンディー地方に生まれ、主な活動の場とした画家ウジェーヌ・ブーダン、このような風景画の展開に重要な役割を果たしました。コローやクールベ、そしてモネといった画家たちは、彼を高く評価し、共に制作を行いました。

また当時、パリからノルマンディーへと向かう鉄道が開通すると、都市部からのアクセスが容易となり、海水浴という新しいレジャーが発達します。近代化の波は、港の様子をも様変わりさせました。同時代的で新しい絵画モチーフを求めた画家たちは、風光明媚な自然風景のみならず、このような近代化の様相を描きました。

本展では、19世紀初頭から20世紀中頃までを中心に、フランス近代風景画の展開におけるノルマンディーの役割についてご紹介いたします。



ウジェーヌ・ブーダン《トゥルーヴィルのレゼコレ》1839年  
トゥルーヴィル、ヴィラ・モンテペロ美術館  
©Illustria



ギュスターヴ・クールベ《海景、風》1865-67年  
ロン＝ル＝ニエ美術館  
©Ville de Lons-le-Saunier, Musée des Beaux-Arts  
Studio Eureka, Jean-Loup MATHIEU



ウジェーヌ・ブーダン《トゥルーヴィルの海岸にて》  
1880-85年  
サンリス美術考古博物館  
©Christian Schryve, Compegne



クロード・モネ《トゥルーヴィル海岸にて》  
1870年パリ、マルモタン＝モネ美術館  
©The Bridgeman Art Library



フェリックス・ヴァロットン《オンフルールとセーヌ河口》1901年  
オンフルール、ウジェーヌ・ブーダン美術館  
Musée Eugène Boudin, Honfleur  
©Crédit photo : HBRAUNER



ラルー・デュフィ《海の祭り、ルー・アールへの公式訪問》  
1925年頃  
ルー・アール、アンドレ・マルロー美術館  
Le Havre, MuMa - Musée d'Art moderne André Malraux  
©Florian Kleinfenn

## 関連イベント

### 記念講演会「印象派の故郷 ノルマンディー」

日時／6月27日(土) 午後2:00～  
講師／古谷 可由氏(公益財団法人ひろしま美術館 学芸部長)  
場所／総合実習室(申し込み不要、聴講無料)

### 担当学芸員のギャラリー・トーク

日時／8月9日(日) 午後2:00～  
場所／特別展示室(申し込み不要、本展チケットが必要です)

### 大人のための美術講座

ギャラリー・トークの前のちよっとお得なレクチャーです。  
日時／8月9日(日) 午後1:00～1:30  
場所／総合実習室(申し込み不要、聴講無料)

### 子ども美術館

#### 「発見!!タイムトラベラー(ノルマンディー編)」

絵画に描かれたフランス、ノルマンディー地方を探検します。  
参加者にはもれなく「探検手帳」をプレゼント!  
日時／7月18日(土) 午前10:00～11:00 午後1:30～2:30  
対象／小学1～6年生とその保護者(定員15名、申し込みが必要)

#### キッズ・プログラムの申し込みについて

Faxまたは電話にてお申し込みください。

- ①参加希望コース名 ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな)
- ④年齢(学校名・学年) ④電話番号(Fax番号)
- ⑤参加される保護者名を必ず伝えてください。

申し込み先 山梨県立美術館「キッズ・プログラム」係  
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324

## アクセス

- 中央自動車道甲府昭和インターより
  - ・料金を昇仙峡・湯村方面へ出て200m先を左折、徳行立体南交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。
- JR中央本線甲府駅より
  - ・甲府駅バスターミナル(南口)6番乗り場から発車するすべてのバスで約15分、「県立美術館」下車。
  - ・タクシーで約15分。(料金1,700円程度)
- 昇仙峡より
  - ・敷島営業所行バスで「県立美術館」下車。



山梨県立美術館  
Yamanashi Prefectural Museum of Art

甲府市貫川1-4-27 〒400-0065  
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324  
http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/  
http://www.facebook.com/yamanashi.artmuseum(Facebook)

山梨から文学の世界へ…

# Time travel from Yamanashi



芥川龍之介のカッパとともに



樋口一葉



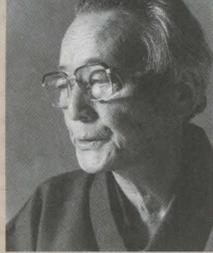
芥川龍之介



太宰治



飯田蛇笏



飯田龍太



為大猷禪人作水虎  
晚歸之図  
我鬼山人

芥川龍之介「水虎晚歸之図」

1923(大正12)年8月、山梨県北杜市長坂町の清光寺で開催された夏期大学に、芥川は講師として招かれ、4日間滞在して文学について講義をしました。この河童(水虎)図は、その時世話になった諏訪孝禅のために描いたものです。

## 山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum Of Literature

●常設展で紹介する主な作家  
山梨出身・ゆかりの作家たち

### 樋口一葉 ひぐち いちよう

小説家・歌人 1872～1896  
東京都生まれ。両親は山梨県甲州市塩山の生まれ。「たけくらべ」に「ごりえ」などの名作を残した。

### 井伏鱒二 いふせ ますじ

小説家 1898～1993  
広島県生まれ。釣りの旅、疎開、太宰治や飯田蛇笏・龍太父子との交友を通じて、山梨県との縁を深めた。

### 太宰 治 ださい おさむ

小説家 1909～1948  
青森県生まれ。1938(昭和13)年秋に御坂峠に滞在。甲府で新婚生活、疎開生活を送り、「富嶽百景」などの佳品を残した。

### 檀 一雄 だん かずお

小説家 1912～1976  
山梨県都留市下谷生まれ。幼年期まで山梨で過ごす。代表作「リソ子・その愛」「火宅の人」のほか料理の著書などもある。

### 山本周五郎 やまもと しゅうごろう

小説家 1903～1967  
山梨県大月市初狩生まれ。幼い頃に山梨を離れた。昭和を代表する大衆作家として活躍。「樞の木は残った」など。

### 深沢七郎 ふかさわ しちろう

小説家 1914～1987  
山梨県笛吹市石和町生まれ。ギタリストの活動を経て、「楡山節考」で文壇に登場。庶民の視点を通して人間の生死を見つめた。

### 山崎方代 やまざき ほうだい

歌人 1914～1985  
山梨県甲府市右左口町生まれ。口語を生かした自由な歌い口で人生や故郷への思いを詠んだ。

### 芥川龍之介 あけがわ りゅうのすけ

小説家 1892～1927  
東京都生まれ。夏目漱石に認められ大正期の文壇に登場。「羅生門」「芋粥」など、古典に近代的解釈を加えた作品がある。

### ●飯田蛇笏・龍太記念室

### 飯田蛇笏 いいだたこつ

俳人 1885～1962  
山梨県笛吹市境川町生まれ。高浜虚子に認められて頭角をあらわす。故郷の自然と風土を詠んだ名句を残した。

### 飯田龍太 いいだりゅうた

俳人 1920～2007  
山梨県笛吹市境川町生まれ。飯田蛇笏の四男。戦後から平成にかけて俳壇の第一線で活躍。

### ●このほか

中村星湖・前田晁・三井甲之・中里介山・伊藤左千夫・秋山秋紅・田中冬二・木々高太郎・小尾十三・村岡花子・徳永寿美子・八木義徳・武田泰淳・李良枝・辻邦生など山梨出身・ゆかりの作家を紹介しています。

樋口一葉「たけくらべ」草稿

芥川龍之介「羅生門」草稿

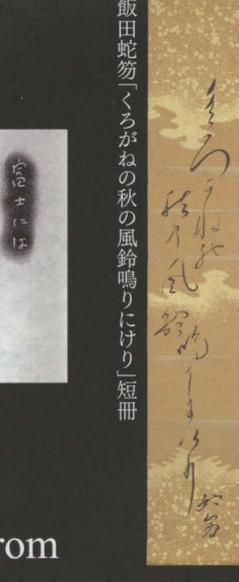
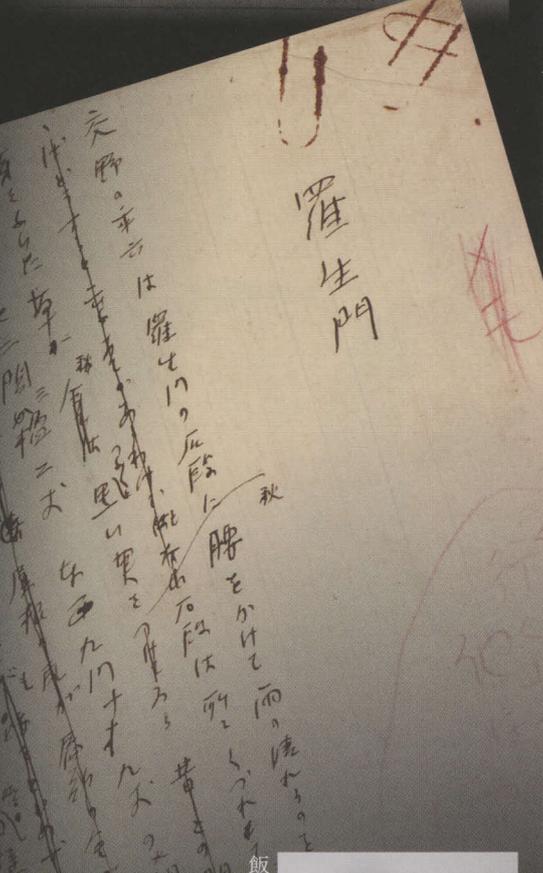
文学碑拓本

「富士には月見草がよく似合ふ」

大宰 治

飯田龍太愛用のカメラ

飯田蛇笏「くろがねの秋の風鈴鳴りにけり」短冊



## 利用のご案内

### 開館時間

- ◎展示室 午前9:00～午後5:00(入室は午後4:30まで)
- ◎閲覧室・研究室 午前9:00～午後7:00(土・日・祝は午後6:00まで)
- ◎研修室・講堂 午前9:00～午後9:00

### 休館日

- ◎月曜日(祝日の場合はその翌日)
- ◎祝日の翌日(日曜日の場合を除く)
- ◎年末年始、その他臨時開館・休館があります。

## 展示室観覧料

常設展	一般	個人	団体(20人以上)	美術館共通券
		320円	250円	670円
	大学生	210円	170円	340円

小・中・高・特別支援学校生の観覧は無料です。65歳以上の方(企画展は県内在住者のみ)、障がい者および介護者の観覧は無料です。

### 年間パスポート(定期観覧券)

一般:1,540円 大学生:770円

### ミュージアム甲斐in券(4館共通定期観覧券)

一般:5,150円 大学生:2,580円

※詳細についてはお問い合わせください。

## 交通のご案内

### 中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

◎料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て、200m先を左折、徳行立体南交差点左折、アルプス通りを約2km上り、貢川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。

### JR中央本線甲府駅より

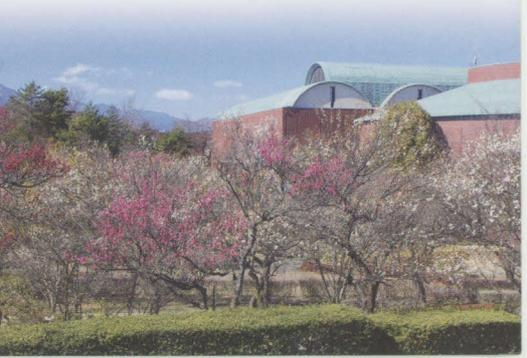
◎甲府駅バスターミナル(南口)6番乗り場から発車するすべてのバスで約15分、「県立美術館」下車。



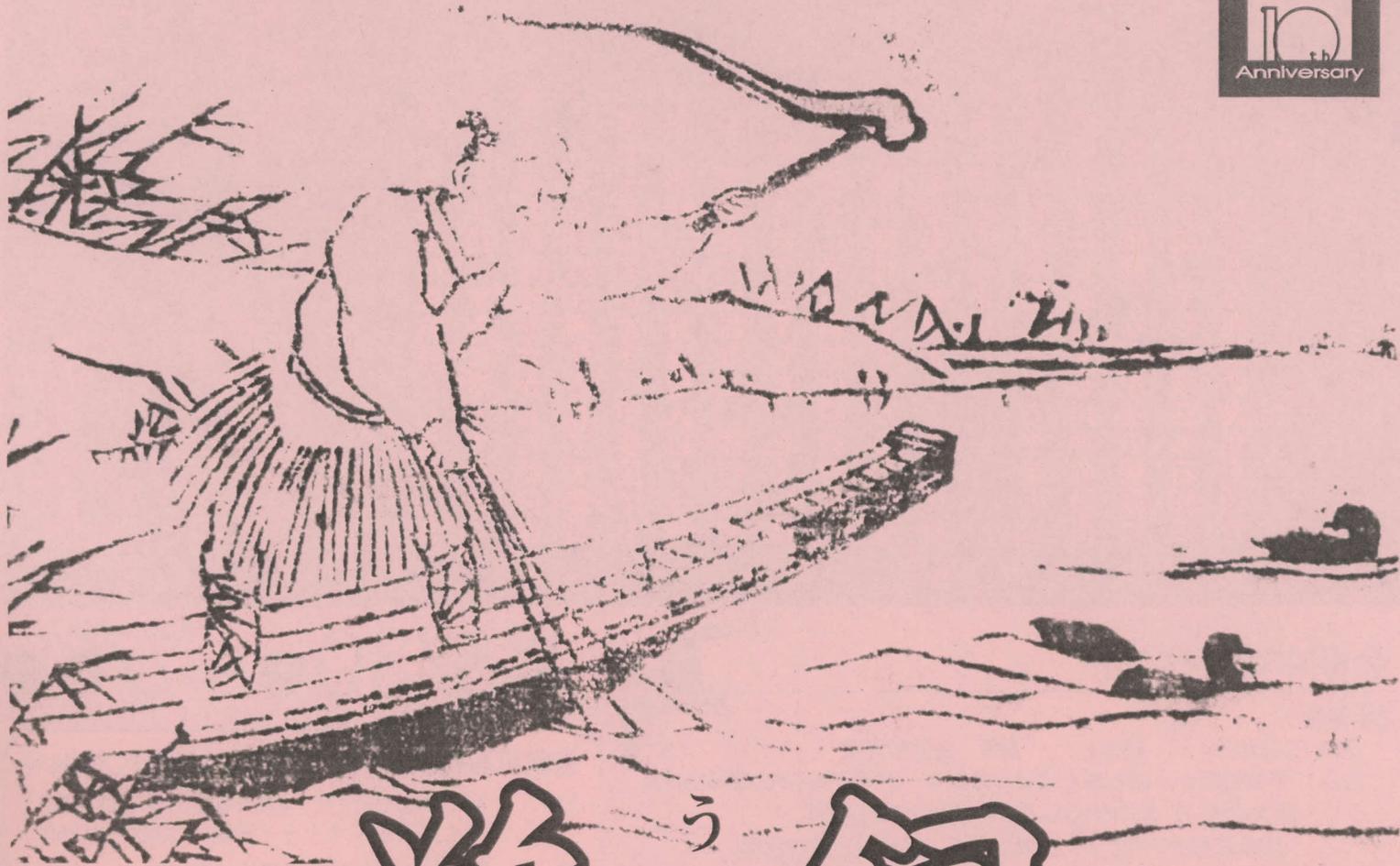
# 山梨県立文学館

Yamanashi Prefectural Museum Of Literature

〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-5-35  
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032  
<http://www.bungakukan.pref.yamanashi.jp/>



## Time travel from Yamanashi



鵜飼の様子(日蓮上人一代記)

シンボル展

# 鵜飼

甲斐の川魚と鵜飼をめぐる伝説

平成27年 5月30日(土) ~ 7月6日(月)



休館日：毎週火曜日  
開館時間：9:00~17:00(入館は16:30まで)  
主催：山梨県立博物館  
後援：笛吹市、笛吹市教育委員会  
協力：笛吹川石和鵜飼保存会、鵜飼山遠妙寺

観覧料：常設展観覧料でご覧いただけます。  
一般 510(420)円、大学生210(170)円

※65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料です。

※( )内は20名以上の団体、県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象にした割引料金です。

※無料・割引の対象となる方は、それぞれ証明できるものをご提示ください。

※定期観覧券(年間パスポート)もごさいます。

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1501-1 Tel.055-261-2631 Fax.055-261-2632

<http://www.museum.pref.yamanashi.jp> [kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp)

七字の経石(遠妙寺)

# 甲斐の川漁と 鵜飼をめぐる伝説

# 鵜飼

石和温泉の夏の風物詩として親しまれている鵜飼。水中に潜って素早く魚を獲る鵜の習性を活かした鵜飼漁は、人々に身近な漁法として大変長い歴史を有しています。甲斐国でも謡曲「鵜飼」や、日蓮聖人による鵜飼の亡霊供養の伝説など、独特の文化が形成されてきました。とくに博物館の近くにある鵜飼山遠妙寺は、鵜飼伝説の故地としてゆかりの文化財が伝えられ、霊場として多くの参詣者が訪れていました。

本展では、甲斐国における生業としての鵜飼をはじめとする川漁の歴史と、謡曲「鵜飼」など甲斐の鵜飼にまつわる伝説、そして現在も石和の地で受け継がれる鵜飼の文化を紹介いたします。

## 会期中のイベント

### 講演会

日時：6月20日(土) 13:30～ 会場：生涯学習室  
 内容：「考古資料から読み解く鵜飼の始まり—甲府市外中代遺跡の土器暗文絵画—」 賀来孝代氏 (有毛野考古学研究所)  
 「鵜飼山遠妙寺の歴史」 長澤宏昌氏 (鵜飼山遠妙寺住職)  
 ※申込不要・参加無料

### 学芸員によるギャラリー・トーク

日時：5月31日(日)、6月7日(日)、6月21日(日)、7月4日(土)  
 15:00～(所要時間30分程度) 会場：企画展示室  
 ※申込不要、常設展観覧券が必要です

### 石和の鵜匠さんによる記念品プレゼント

日時：5月30日(土) 14:00～ 会場：シンボル展入口  
 協力：笛吹川石和鵜飼保存会  
 ※申込不要、先着順(50名様)、常設展観覧券が必要です

### あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば「紙芝居 うかいものがたり」

日時：5月31日(日) 11:00～(所要時間30分程度)  
 会場：常設展示室  
 ※申込不要、常設展観覧券が必要です

### かいじあむ子ども工房「鳥のペーパークラフトを作ろう」

日時：6月13日(土) 10:30～15:00 会場：ロビー  
 ※申込不要、参加無料、どなたでもご参加いただけます

### かいじあむ古文書講座「鵜飼に関する古文書を読む」

日時：6月27日(土) 13:30～15:00 会場：生涯学習室  
 ※事前申込が必要(TEL 055-261-2631)、聴講無料

### 鵜飼見学 鵜が魚を捕る練習をするところを間近でご覧いただけます。

日時：6月28日(日) 13:30～  
 (所要時間1時間程度)  
 会場：外庭  
 協力：笛吹川石和鵜飼保存会  
 山梨県水産技術センター  
 ※申込不要・参加無料



笛吹川石和鵜飼 (提供：笛吹市)

### 茶道体験

日時：6月28日(日) 10:00～14:00  
 会場：ロビー ※申込不要、参加無料



平成27年 5/30(土) - 7/6(月)

### 笛吹川石和鵜飼にも、ぜひ足をお運びください!

日時：7月20日(月・祝)～8月19日(水)の間  
 毎週水・木・土・日曜 20:00～20:50

場所：笛吹市役所前の笛吹川河川敷

お問い合わせ：笛吹市役所  
 産業観光部観光商工課  
 TEL 055-262-4111(代)



## アクセス

- 中央自動車道一宮・御坂ICから車で約8分
- 高速バス新宿—甲府線御坂バス停下車徒歩15分
- JR石和温泉駅からバスで約10分
  - ・山梨交通/「山梨県立博物館」行き
  - ・富士急山梨バス/「鶯宿」行き
- JR甲府駅からバスで約30分
  - ・山梨交通/南口7番のりば「山梨県立博物館」行き
  - ・富士急山梨バス/南口7番のりば「富士山駅」「下黒駒」行き
- 富士急行・河口湖駅からバスで約40分/5番線「甲府駅」行き
- 富士急行・富士山駅からバスで約50分/4番線「甲府駅」行き



**山梨県立博物館**  
 Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1  
 電話 055-261-2631 FAX 055-261-2632  
 ホームページ <http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>



レース切り絵の世界  
 蒼山日菜と13人の仲間たち

2015年 4月4日(土) ▶ 6月28日(日)



蒼山日菜  
 Aoyama Hina

2000年よりハサミのみで作りあげる切り絵を始める。オリジナリティと究極の技に迫り細くレースのような切り絵を製作。世界的な評価を受け現在に至る。

ギャラリートーク

4月 4日(土) 午後2時～  
 5月 16日(土) 午前11時～ 及び 午後2時～  
 6月 7日(日) 午前11時～ 及び 午後2時～

13人の仲間たち (参加作家)

安藤いく子 露末知美 川上和枝 工藤祐輔 Ko hina  
 清家由佳 田島みよ子 徳山みえ子 中沢由紀子 原あす香  
 武藤美穂 宗清有木子 山下ちとせ (50音順)



富士川クラフトパーク内

富士川・切り絵の森美術館



山梨県南巨摩郡身延町下山1597 TEL 0556-62-4500

URL : <http://www.kirienomori.jp/> E-Mail : [info@kirienomori.jp](mailto:info@kirienomori.jp)



マップQRコード

# レース切り絵の世界 蒼山日菜と13人の仲間たち

このたび、富士川・切り絵の森美術館では、第14回企画展として「レース切り絵の世界 ～蒼山日菜と13人の仲間たち～」を開催致します。蒼山日菜作品を中心とした企画展は平成23年に開催した「蒼山日菜プロデュース・世界の切り絵展」に次いで2回目となります。1枚の紙と1本のハサミから生み出される繊細で優美なモノクロームの宇宙。スイス切り絵の伝統的技法を基本に日本人が持つ繊細な感性と器用さを最大限生かして創り上げる華麗な切り絵作品。それが蒼山日菜レース切り絵の世界です。蒼山日菜は結婚してフランスに住み、異国の地で心が負けそうな時にスイス伝統の切り絵に出会いました。黙々と小さなハサミを動かし紙を切り抜くことが生きるための大きな力になったと述懐しています。彼女の独創的な作品が人々の前に初めて披露されたとき感動のあまり涙する人さえいたそうです。作品は繊細でとても華やかです。「まるでレースみたい！」という人々の言葉から作品は「レース切り絵」と呼ばれるようになりました。蒼山日菜作品は世界のコンペティションで高い評価を受けるなどその芸術性は広く知られています。今回の企画展は、蒼山日菜によるこうした微細で幻想的な作品の数々を堪能していただくとともに蒼山日菜を師と慕う個性豊かな13名の切り絵作家によるバラエティ豊かな作品、さらには今回の企画展に際し富士川・切り絵の森美術館のために新たに制作された「蒼山日菜と13人の仲間たち」によるコラボレーション作品などさまざまなレース切り絵の世界をお楽しみいただけます。

## 2015年4月4日(土) ▶ 6月28日(日)

- 開館時間：午前9時30分～午後5時30分 ※入館は閉館30分前まで
- 休館日：毎週水曜日(ただし祝日の場合はその翌日)
- 入館料：一般700円(600円) 小中学生300円(250円)  
( )内は20名以上の団体料金
- 主催：富士川・切り絵の森美術館
- 共催：山梨日日新聞社・山梨放送
- 後援：山梨県、市川三郷町、富士川町、早川町、身延町、南部町  
テレビ山梨(株)、読売新聞甲府支局、朝日新聞甲府総局、毎日新聞甲府支局  
産経新聞甲府支局、日本経済新聞甲府支局、(株)山梨新報社、(株)エフエム富士

### 交通のご案内

- お車でお越しの場合
  - 東京・長野方面からは
    - ・中部横断道増穂IC下車。R52を静岡方面へ約18km。身延町下山「上沢交差点」を右折。
  - 関西方面からは
    - ・東名高速道路清水IC下車。R52を甲府方面へ約58km、新清水ICからは45km。
- JRでお越しの場合
  - 東京・長野方面からは
    - ・JR甲府駅にてJR身延線に乗換。下部温泉駅下車、タクシー利用2.5km。
  - 関西方面からは
    - ・新幹線静岡駅にてJR身延線接続の「特急ワイドビューふじかわ」に乗換。  
下部温泉駅下車、タクシー利用2.5km。



マップQRコード



富士川クラフトパーク内

富士川・切り絵の森美術館  
FUJIKAWA KIRIE ART MUSEUM

〒409-2522 山梨県南巨摩郡身延町下山1597

TEL 0556-62-4500 FAX 0556-62-4115

URL : <http://www.kirienomori.jp/> E-Mail : [info@kirienomori.jp](mailto:info@kirienomori.jp)

# 平成27年度特別展のご案内

※展覧会名・内容・会期は変更になる場合がございます。

## 夜の画家たち

— 蠟燭の光とテネブリスム —

4月18日(土)～6月14日(日)

西洋美術がひとつの頂点を迎えたバロック期。その代表的な技法に、夜や闇のなかから、一条の光や炎によって、劇的に対象を浮かび上がらせるテネブリスム(明暗主義)があります。イタリアのカラヴァッジョ、フランスのジョルジュ・ド・ラ・トゥール、オランダのレンブラントらは、闇と光を巧みにあやつりました。

こうした明暗画は、近代に初めて西洋美術に出会った日本人画家らをも魅了しました。山本芳翠はその絵が「全く光りのついてある様だ」と感心し、自らもこの新しい表現に挑みます。亜欧堂田善、高橋由一から高島野十郎まで、独自の明暗表現を手がける日本の「夜の画家」たちが出現してきたのです。

この展覧会では、これら近代日本の生んだ闇と光の世界の全貌を、17世紀フランスの巨匠ジョルジュ・ド・ラ・トゥールの作品などとも対比させながら、明らかにしていきます。



近藤浩一路(下京の夜)  
大正2(1913)年 山梨県立美術館蔵

## 近代風景画の創造

### ノルマンディー展

6月27日(土)～8月23日(日)

フランス北部に位置するノルマンディー地方は、パリ市民に最も人気のある保養地の一つです。19世紀初頭、封建時代の遺跡や中世の町並みが残っていたこの地は、「絵になる」景観を求める多くの画家たちを集めました。

その後、鉄道網が発達すると、海辺での余暇を過ごすため、都市部の人々が訪れるようになります。刻々と移ろいゆく光が照らす、美しい水辺の風景が広がるこの地は、身近な自然風景の表情を描き出し、また余暇を楽しむ近代生活の情景を主題とした画家たちが集う場となりました。本展では、フランス国内のコレクションを中心に、油彩、素描、版画、写真など約100点を展示いたします。とりわけルーアンから河口のル・アーヴルまで、セーヌ川沿いの地域に焦点を当て、近代風景画の発展におけるノルマンディーの役割を探ります。



ギュスターヴ・クールベ(海景、風)  
ロニール=ソニエ美術館蔵

## ルートヴィヒ・コレクション

### ピカソ回顧展(仮称)

9月1日(火)～10月25日(日)

ドイツのケルンにあるルートヴィヒ美術館は、世界最大級のピカソのコレクションを有しています。本展では、巨匠ピカソの初期から晩年までの多様なスタイルの作品を展示します。

ピカソは造形上の表現手法を駆使し、油彩の他にも、素描、水彩、版画、陶芸などが手がけ、さまざまな実験を試みました。その作品数は十数万点にも及び、最も多作な作家としても知られています。

ルートヴィヒ美術館の創設者であるベーター・ルートヴィヒ夫妻は、約7200点のピカソ作品を、ドイツのケルンにある現代美術館へ1976年に寄贈しました。この美術館が独立し、ケルン市ルートヴィヒ美術館となりました。

本展では、選りすぐりの作品の他に、著名な写真家たちによって撮影されたピカソの肖像写真を展示することで、天才と謳われた画家の素顔に迫ります。



## 花の画家

### ルドゥーテのバラ展

11月3日(火)～平成28年1月17日(日)

近年話題豊富な「ボタニカル・アート」の金字塔として、多くの人々を魅了しているベルギー出身の画家ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ(1759～1840)。彼は、フランス王妃マリー・アントワネットの博物蒐集室付きの画家として重用され、フランス革命後は、ナポレオンの皇妃であり、「近代バラの母」と呼ばれるほどバラ栽培に情熱を燃やしたジョゼフィーヌに仕えました。

ルドゥーテの代表作『バラ図譜』は、169枚の銅版画からなり、点刻彫版法の超絶技巧により、花卉の一枚一枚まで正確かつ柔和に表現されています。

本展では、『バラ図譜』を中心に「花のラファエロ」とも称えられたルドゥーテの作品約200点を一堂に集めて紹介します。



『バラ図譜』より「ロサ・ダマスクーナ」

アクセス

- 中央自動車道甲府昭和インターより
  - ・料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て、200m先を左折、徳行立体南交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。
- JR中央本線甲府駅より
  - ・甲府駅バスターミナル(南口)6番乗り場から発車するすべてのバスで約15分、「県立美術館」下車。
  - ・タクシーで約15分。(料金1,700円程度)
- 昇仙峡より
  - ・敷島営業所行バスで「県立美術館」下車。



**山梨県立美術館**  
Yamanashi Prefectural Museum of Art

甲府市貫川1-4-27 〒400-0065  
Tel. 055-228-3322 Fax. 055-228-3324  
<http://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/>

# 山梨県立美術館2015年度カレンダー

特別展開催期間

- :夜の画家たち - 蠟燭の光とテネブリスムー
- :近代風景画の創造 ノルマンディー展
- :ルートヴィヒ・コレクション ピカソ回顧展(仮称)
- :花の画家 ルドゥーテのバラ展

：休館日

2015年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2015年5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2015年6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

2015年7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2015年8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2015年9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2015年10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2015年11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2015年12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2016年1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2016年2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

2016年3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	



かつて山梨は水晶を多く産出しました。古くは縄文の時代より、この地に住む人々はその水晶を加工して、用いていたと言われます。その後、研磨・加工を生業とする人々がここで暮らし始めました。

初めて水晶の原石を目にした縄文人は、その石の不思議な形や透きとおる様子に惹きつけられ、何か特別なものをそこに見ていたかもしれません。この感性は、今に至るまでわたしたちの中に引き継がれています。

山梨から、これまで多くのジュエリーが人々のもとへ届けられていきました。そしてこれからも、人々を魅了するジュエリーが山梨から生み出されていくはず。ミュージアムは、その歴史、伝統と未来をつなぐ場としての役割を担っていきます。

わたしたちはミュージアムのシンボルとして水晶の原石を選びました。この原石を磨き上げ、かたちづくっていくように、みなさまと一緒にミュージアムを作っていけたらと考えています。



## 山梨ジュエリーミュージアム

山梨県立宝石美術専門学校附属ジュエリーミュージアム  
(通称:山梨ジュエリーミュージアム)

開館時間: 午前10時~午後6時(入館は閉館の30分前まで)

休館日: 火曜日(祝日の場合は、その翌日)、年末年始  
その他、臨時に開館・休館することがあります。

入館料: 無料

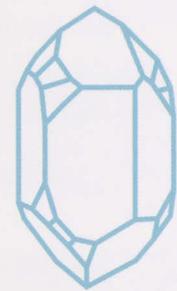
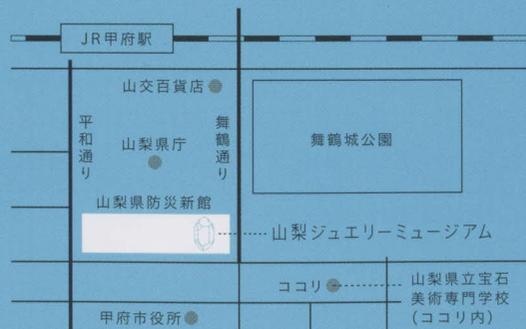
施設概要: 延べ床面積500平方メートル  
(展示室5室、実演工房、体験工房、ショップ)

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1

山梨県防災新館1階やまなしプラザ内

TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

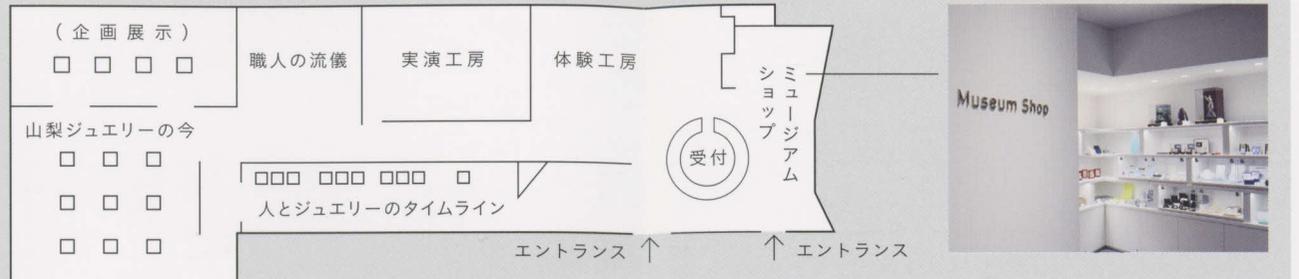
<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/index.html>



# Yamanashi Jewelry Museum

山梨県の宝飾産業は、江戸時代に上質の水晶が採掘され、水晶研磨の技法が伝えられたことが始まりと言われます。現在では、水晶やめのうなどの素材を使った美術彫刻やジュエリーの素材である宝石の研磨加工、ジュエリーを作る貴金属加工、更には国内外へのジュエリーの流通を行う企業など、ジュエリーに関わるあらゆる業務が集中する、世界的にも珍しい「集積産地」となりました。

本施設は、地場産業としての山梨の宝飾品加工生産の歴史、受け継がれるべき卓越した技術、そして生み出される美しい宝飾品の数々により、山梨宝飾産業と「山梨ジュエリー」のすばらしさを発信する施設を目指しています。



### 人とジュエリーのタイムライン

山梨がジュエリーの一大産地へ至った歴史的背景に人とジュエリーのかかわりを重ね合わせ、人とジュエリーの関係に思いを馳せる空間です。



### 山梨ジュエリーの今

山梨で活躍するデザイナー、職人、作家が制作する作品の数々。高度な技術力とそれを活かすデザイン、若手デザイナーや職人の新しい試みなどジュエリー産地「山梨」から発信される多彩なジュエリーを展示しています。



### 職人の流儀

ジュエリーを生み出す芸術的ともいえる技を貴金属加工・研磨・彫刻、各分野の優れた作品を通して紹介します。作品とともに、宝飾産業に携わる「プロフェッショナル」を84インチの大画面で紹介しています。



### 実演工房

貴金属加工・研磨・彫刻の職人が実際に作業している様子を見学することができます。山梨ジュエリーの歴史や伝統、地域ならではのかたちを受け継いできた職人の卓越した技を間近でご覧下さい。(土、日、祝日開催)



### ジュエリーをかたちづくるもの

ひとつのジュエリーが完成するまでに、どのような工程をたどるのでしょうか？山梨で産出した水晶、世界各地の鉱物、これらを加工する貴金属加工・研磨・彫刻の道具たち。ジュエリーをかたちづくる「もの」の展示スペースです。



### 企画展示

ジュエリーや宝石、鉱物など広範囲なテーマについてミュージアムが企画する展示のほかに、山梨県立宝石美術専門学校や山梨県内で活躍する宝飾関連の団体などによる企画展示を展開します。



### 体験工房

気軽にジュエリーの製作や研磨の体験などができるプログラムを用意しています。各プログラムとも定員があります。早めにお申し込み下さい。詳細はWebをご覧ください。(土、日、祝日開催)

